

輸送動向について（平成26年度第3－四半期）

平成27年1月

1. 輸送概況

第3－四半期は、10月の台風18号上陸及び東海道線由比～興津間土砂流入、台風19号上陸の影響、12月初旬から中旬にかけて主に新潟地方での大雪、爆弾低気圧の接近の影響等により、高速貨1,172本、専貨18本が運休した（前年同期間は、高速貨251本が運休）。

荷動きについては、景気が緩やかな回復基調にあり、国内生産が減少傾向から下げ止まってきたものの、輸送障害の影響を大きく受けて全体では前年を下回った。

コンテナ貨物は、農産品・青果物と食料工業品で前年を上回ったものの、それ以外のすべての品目が前年を下回り、全体では前年比95.8%となった。農産品・青果物は北海道産野菜や民間流通米の発送が好調な発送となり、増送となった。一方、自動車部品は販売台数の減や現地調達化に伴い、また、エコ関連物資は災害廃棄物の輸送終了に伴いそれぞれ大幅に減送となった。

車扱貨物は、石油が10・11月に需要が低迷したことや、北海道での石油輸送終了により減送となり、全体では前年比94.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では前年比95.4%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	3－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,537	5,782	95.8%
車扱	2,497	2,636	94.7%
合計	8,034	8,419	95.4%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	671	618	53	108.6%
	化学工業品	509	536	-27	94.9%
	化学薬品	375	395	-20	94.8%
	食料工業品	885	883	2	100.2%
	紙・パルプ	818	864	-46	94.7%
	他工業品	372	418	-46	89.0%
	積合せ貨物	608	627	-19	97.0%
	自動車部品	170	222	-52	76.6%
	家電・情報機器	111	125	-14	88.8%
	エコ関連物資	105	128	-23	82.2%
	その他	914	967	-53	94.5%
コンテナ計	5,537	5,782	-245	95.8%	
車扱	石油	1,651	1,809	-158	91.2%
	セメント・石灰石	407	391	16	104.1%
	車両	259	258	1	100.4%
	その他	180	179	1	100.8%
車扱計	2,497	2,636	-139	94.7%	
合計	8,034	8,419	-385	95.4%	

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）